

# オスプレイ不時着水事故 普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還の実現について 要請を行いました

## 12/7 ・8 普天間飛行場の一日も早い返還の 実現について沖縄関係5閣僚へ要請

佐喜眞市長は全面返還合意から20年を迎え、今なお返還への道筋が見えず、基地固定化への危機感が日増しに高まっているとして、普天間飛行場の一日も早い返還の実現について、菅官房長官をはじめとする沖縄関係5閣僚へ要請を行いました。

また、普天間飛行場問題の解決に向け、最優先で取り組むことと、1月に発足する米新政権に対し、宜野湾市民の願いをしっかりと伝え、早期返還を実現するよう併せて要請しました。



▲岸田外務大臣へ要請



▼稲田防衛大臣へ要請



▲菅内閣官房長官へ要請

12/27

内閣官房長官、外務大臣、  
防衛大臣へ要請

オスプレイの不時着水事故および普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還の実現について、内閣官房長官、外務大臣および防衛大臣へ要請しました。

佐喜眞市長は、今回の事故で常に危険と隣り合わせである普天間飛行場の一刻も早い閉鎖・返還の必要性が改めて示されたとして、政府に対して固定化は絶対にあってはならないという市民の想いを真摯に受け止め、問題の抜本的解決のために日米両政府および沖縄県が互いに協力しながら、あらゆる方策を講じて、まちのど真ん中にある普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還を必ず実現し、5年以内運用停止をはじめとする返還までの間の危険性除去および基地負担軽減についても目に見える形で着実に実現するよう強く要請しました。



▲若宮防衛副大臣(政府)へ要請

12/14・  
15・20

オスプレイ事故を受け、政府  
関係者、米軍へ抗議・要請

12月13日(火)に発生したオスプレイの事故を受け、防衛大臣をはじめとする政府関係および、米軍に対し抗議・要請を行いました。

佐喜眞市長は、事故を受け市民にも大きな衝撃と不安が広がっていると、徹底した事故原因の究明・公表と、再発防止策の策定・公表を強く求めました。さらに、市民が納得できる事故原因や再発防止策の発表がなされないまま、12月19日(月)にオスプレイの飛行が再開されたことは、断じて容認できないとして、米軍に強く抗議するとともに、安全が確認されるまでの間のオスプレイの飛行停止を改めて求めました。また、問題の抜本的解決のため、普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還の実現に向け、日米両政府において不断の努力で取り組むよう強く要請しました。

問合せ 基地渉外課 ☎893-4411(内線310・312)